



とちょう保育園便り

2022年8月号

どんよりしたお天気が明け、夏本番を感じる今日この頃です。

とちょう保育園では先月から水あそびが始まっています。ベビー用タライにはった水を触ってみたり、手足にかけたりし、ひんやりとした気持ちの良い水の感触を感じています。今後はさらに色水、氷、大きいクラスは寒天あそびなどを楽しんでいきます。どんな遊びが広がるか、今から楽しみです。

コロナウィルスだけでなくこの時期に多い感染症や熱中症に気をつけながら、この夏も楽しいことをたくさん経験し元気に過ごしたいと思います。

とちょう保育園

8月の予定

身体測定

0歳児健診

避難訓練

夏場の肌着

8月～9月中旬まで、着替え用肌着のご用意は要りません。

普段ご用意いただいている洋服は、お昼ご飯前後の時間に着替え、肌着だけはお昼寝明けに着ていました。午後は室内で過ごすので、夏場は肌着を着ないで半袖で涼しく快適に過ごしていきたいと思います。あまりに暑く、汗をたくさんかく時には、半袖のお着替えをしていきますので、よろしくお願ひします。肌着をまたご用意いただくときには、保育園からお知らせいたします。

〇〇。ミニ水族館。〇〇

保育園に入ってすぐのスロープの天井を見上げると…

小さな海を模したミニ水族館があります。夏の七夕が終わった…くらいを目安に毎年飾っているこの飾り。今年も飾ったその日に子どもたちからの素敵な反応がありました。

0歳【保育士に抱っこされながらスロープを通る際にじっくりと見つめたり手を伸ばそうとしていました。「綺麗ねえ」と声を掛けられるとニマリ顔で応えてくれているようでした。

1歳【“カメさん！カニさん！あつタコさんも！”と、見つけた生き物を身振り手振りで伝えようとしてくれ、見つけた嬉しさを友だちや保育士と共有しています。魚釣り遊びをするときも「一緒だねえ」とカニやカメの人形を見せてくれます。

2歳【ゴロンと寝転がり、見上げながら鑑賞。海の中の世界を楽しんでいるようです。“エイ”にはあまりなじみが無い子もいて「恐竜みたいだね」と、感じたことを表現してくれます。なるほど！言われてみればエイの尻尾が恐竜の長い首の部分に見えてきます…子どもの想像力は無限大です。

ホールや0歳の受け入れコーナーの天井にも同じく海の生き物たちが気持ち良さそうに泳いでいます。子どもたちは、こうした季節ごとの飾りからも影響を受け、イメージを広げながらそれぞれの遊びへと発展していきます。

送り迎えのお時間のある時にはぜひ上をご覧ください。暑い夏、保護者の皆さまにも涼をお届けします。

